

テーマ名： モデルロケットを作ろう



1. このテーマの目的や活動内容や予定を200字以上で説明して下さい。

私たちのIWではモデルロケットを製作して打ち上げる、その過程でものづくりの楽しさを知り各々の分野へ生かしていくことを目的としています。ロケットという言葉を知ると多くの人が宇宙探査機はやぶさなど私たちの生活とは程遠い無関係なものだという印象を得るのではないのでしょうか。しかし、気象衛星を活用した気象予報や測位衛星を用いた位置情報サービスなど知らないうちにロケットは私たちの生活に強く密着しています。また、人工衛星等を用いた技術は今後さらに発展し私たちの生活になくてはならないものとなるでしょう。実際、人工衛星の位置情報システムを用いて現在自動車の自動運転などが開発されており一部はすでに実用化されています。一方で、ロケットの技術はミサイルなどの軍事的な目的としても活用されておりその脅威は日々強く感じていることでしょう。ロケットを含めた多くの科学技術は使い方を誤れば私たちの生活はおろか人間の存在そのものを脅かす大きな脅威と成り得ます。今後、技術者として生きていく私たちには世の中にある技術を適切に活用していくことが求められます。そのために、私たちのIWではモデルロケットの製作を通してこの技術は誰のためにあってどのようにして社会に活用できるかを考える機会を設けて技術の在り方、科学技術の存在意義、そしてどんな技術者になりたいかを考えていきたいです。

2. このテーマをどのように発展させたら、社会とつながるテーマになりますか？

上でも書いたようにロケットは私たちの社会生活になくてはならない技術であり、社会に強くつながっています。しかし、私たちのテーマで作るロケットはモデルロケットという小型で宇宙まで届かないロケットを製作します。そのため私たちに社会に関わる重要なロケットを製作することは不可能でありロケットの製作そのものが社会に繋がることはないと考えています。そもそもモデルロケットは宇宙開発をもっと身近に感じられるようなものとして宇宙開発に関わる人材を育成することを目的としたものです。よって地域の人たちと一緒にやってモデルロケットを製作したりすることによって地域のひとに宇宙を身近に感じられる活動となると思います。また、宇宙開発に興味なくてもモデルロケットの部品の作り方を考えたりすることで工業とヒトをつなげることが出来ると考えます。このIWは作るものを作って作り使うというものづくりの一連の流れを体験することができます。自分たちの活動そのものが社会に寄与することができなくとも、人とのづくりを繋げる活動つまり社会に大きくつながるテーマに成り得ると考えます。